

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：アスク茅ヶ崎保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：篠原 慈江	定員（利用人数）：96名（96名）
所在地：〒253-0043 茅ヶ崎市元町7-42	
TEL：0467-59-4550	ホームページ： https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/chigasaki/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2013年9月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 日本保育サービス	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：20名
専門職員	保育士 25名 看護師 1名 栄養士 1名 調理員 5名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
	乳児室（0～2歳児室）3室 鉄筋コンクリート造り 2階建て 幼児室（3～5歳児室）3室 建物延床面積 547㎡ 沐浴室 1室 園庭 58㎡ 調理室 1室 トイレ 7室 事務室 1室 職員休憩室（更衣室）1室

③ 理念・基本方針

【保育理念】 ～すべてはこどもたちの笑顔のために～ 未来（あす）を生きる力を培う 自分らしく生きる道を歩み、どんな時代にも対応できる資質と能力を培います
【基本方針】 一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行うことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための‘生涯にわたる生きる力の基礎’を育みます ・自ら伸びようとする力を支えます ・五感を養って感性を豊かにします ・後伸びする力を育みます

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】 アスク茅ヶ崎保育園は、平成25年9月に開園し、0～5歳児を対象として現在96人

(定員96名)が在籍しています。JR東海道線・相模線茅ヶ崎駅北口から徒歩5分の国道1号線沿いに位置し、南側は住宅地で、近隣には小学校、保育園、市民文化会館や、中央公園、一里塚公園ほかいくつかの公園があり、散歩で利用しています。また、近隣には大型商業施設があり賑わっています。園舎は3階建てで、園庭及び砂場、遊具を備えた屋上園庭があります。

【園の特徴】

- ・園では、子どもたちの「生きる力」「伸びる力」を育むよう、様々なプログラムによる運動遊びや体の動き、心の動きを経験することを大切にしています。専任の講師の指導による体操・英語教室・音楽、スイミング等を取り入れ、楽しむ心、学ぶ楽しさを育てています。
- ・園では、月に1度3～5歳児クラスで、クッキングを行ない「食育」の取組を大切にしています。屋上園庭で季節ごとに子どもたちが育てた野菜を調理し給食にして提供しています。自分たちの作ったものをみんなで食べ、食の楽しさを体験する保育を行っています。
- ・子どもの人権を尊重し一人ひとり丁寧に関わる保育を行っています。1歳児には、食事の時、育児担当制を行っています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年8月1日（契約日） ～ 2024年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2017年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 保育プログラムの充実

1歳児から5歳児までクラス毎に音楽（月曜日）、英語（火曜日）、体操（金曜日）を月2回専任の講師を招いて実施しています。また、保護者から要望の多かった水泳教室をスイミングスクールとの連携により今年度から開始しています。子どもたちが、「楽しむ心」や「学ぶ楽しさ」を育み、早い時期からいろいろな体験をして、その中から自分の好きなもの、得意なものを早く見つけて「これだけは誰にも負けない」という自信を持てるよう保育に取り組んでいます。

2. 子どもの創造力等を養う保育の実践

今年度、園長自ら子どもたちの前で、ジャガイモ、トマト等の野菜を使い、水に浮くものと沈むものを実際にも実験して、みんなで何故だろうと考える保育を行っています。子どもたちは、「土の中で育つ野菜は沈み、土の上で育つ野菜は浮くこと」がわかり驚いています。子どもの主体性を育てるよう「自主性、創造力、判断力、問題解決力」を養うための保育に取り組んでいます。園では、子どもたちが関心や疑問をもち、考え込む姿を見ることが出来たことから今後も継続して実施していくことにしています。

3. 働きやすい職場環境の整備

運営法人の経営理念に「職員が楽しく働けることで子どもたちを笑顔にします」と掲げ、職員が楽しく働くことで、子どもたちが笑顔で安心して過ごせる環境づくりに力をいれています。保育者の子どもが小学3年生になるまで、勤務時間を短縮できたり、ライフスタイルに合わせて「一般職」「総合職」の選択ができたり、ま

た、夏季休暇等が取りやすく働きやすい職場環境になっています。こうした職場環境を整備しており、職員の勤労意欲が向上して、園児に寄り添い丁寧な保育が行なえるようになっています。

◇今後期待される点

1. 災害における取組の強化

園では、毎月防災訓練を実施していますが、自治会や消防団、近隣住民が参加した訓練が行なわれていません。また、職員が地域の防災訓練や災害発生時の対策に関わることもしていません。災害発生時には、相互が協力して安全を図れるよう、行政の支援を得て、自治会への加入や近隣福祉施設、子育て支援施設等との連携を日頃から図り、協力体制を図ることが期待されます。

2. 地域子育て支援の充実

園では、屋上園庭の開放や移動動物園、未就園児の「すまいる広場」などの地域子育て支援活動を行なっていますが十分とはいえません。育児講座、子育て講習会、赤ちゃんサロン、おむつ交換や授乳時の施設提供や、老人クラブや地域子育て支援施設等との連携強化をさらに図ることが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回で5度目の受審となりましたが、客観的な視点で評価していただくことで、今一度当園の保育を見つめ直し、より良い運営に繋がればとの思いから受審をさせていただくことになりました。評価機関の方々には、子どもたちの園生活の場面を観察の上、様々な角度から調査、評価をいただきました。また、保護者の皆さまにはご多忙にもかかわらずアンケートにご協力いただき感謝いたします。

受審にあたり、職員一人ひとりが評価項目に対してそれぞれの考えや思いを伝えることで改めて当園の運営方針や保育理念や特徴、現時点で欠けている部分や課題等に真剣に向き合うことができたと感じています。保護者アンケートからは園の現状を客観的に知ることができました。当園にとって引き続き大切にするべきことや運営面で十分でないことが明確になり、客観的な評価を受けることの重要性を痛感いたしました。

ご意見をいただいた項目は、できる限り早急に改善し、取り組んでまいります。お褒めのお言葉をいただいた項目は、今後の私たちにとって励みとなり大きな自信に繋がっております。これからも一人ひとりの子どもたちに寄り添い、安心して過ごせる環境、保護者の皆様に安心してお子さまを預けていただける園作りに邁進してまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり